

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりの木放課後デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 4日		R7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	R7年 11月 4日		R7年 11月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自己決定を重視した自由遊び。 ・集団あそびをすることで集団遊びのルールを学び、お友達との関係の持ち方を学んでいけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の中に自己選択する場面を多く持つとともに、友達との関わりに必要なスキルを学べるようにしている。 ・個々の子どもの苦手な所を伸ばすようにいろんな場面で成長できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作などをする場合には、実際に見たり触れたりするなど、また本を見るなど体験から発想ができるように支援をしている。 ・材料もいろんな材料を使ってできるようにしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の数が定員より多く配置している為、個々の子どもに対応しながら子どもに色々な力をつけていっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症の言葉が出ない子どもに対して色々な伝える方法を練習している(場面や子どもに応じた方法) ・帰りの会では読書が苦手な子には短いお話をみんなの前で読んだり、自分に自信がない子に関しては自信が持てるような、みんなに認めてもらえる場面を作るなど全体の中で個々に応じた対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団でのソーシャルスキルトレーニングを念頭においてやっていく。 ・個々の子どもに応じた苦手を克服できるようにプログラムをくんで行っている。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流がしやすい立地にあり、地域の学校の子も達と遊ぶ機会が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校の子も一緒に遊びに入れるようにし、みんなで一緒に遊ぶようにしている（週に2回程度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊びの後にはゴミを拾ったり、公園で会う人みんなに挨拶をするようにしている。 ・地域の一員として交流を深め、社会参加の機会を提供している。
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋がないため静かな環境をつくるのはむずかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広さが限られている。 ・個室がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇など近くに場所を借りる。 ・運動や場面に応じて場所を借りて対応している。 ・間仕切り等で個別の場所を作るようにしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に弱い立地となっている。川や海の側にあり、低い土地であり地震等で津波が起きた時にはすぐに避難が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海や川が近いので、地震などで津波が起こると短時間で波が到達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とっさの時に早く行動ができるように避難訓練を多く行っている。 ・地域の支援を得ることができるように地区の仲間入りをしたり、公民館などに避難のお願いをしたりしている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の位置が地域の端に位置している為、送迎に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の利用は事業所に近い地域に限定しているが特別支援学校は淡路島で1か所になっている為時間がかかってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時間を使ってみんなで話をしたり、他の子どもが乗っていない時には相談の時間にするなど工夫をし、しりとりや歌をうたうなど楽しみの時間にしている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 もりの木放課後デイサービス

公表日 令和8年1月30日

利用児童数 令和7年12月12日 27名

回収数 25名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・1フロアなので1つでも別室などあればいいのかなあと思う。 ・通っている日に子どもが何人いてどのような動きをするのか等、知らないので… ・長期休暇の際には少し狭いように感じる事もあるが、色々なプログラムを計画されているので、工夫されていると感じる。 ・子どもはもう少しスペースが広くほしいと思うが、私はちょうど良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別室が必要な時には衝立をする等、別の空間と感じられるようにしている。 ・子どもの受け入れ人数については通所時にお知らせをしているが、お便りなどで変化のあった場合お知らせするようにしたい。 ・近くの公民館や市の体育館などを今後も積極的に借りし、伸び伸びと活動ができるようにしていきたい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			3	<ul style="list-style-type: none"> ・何人いるのか知らない。 ・ちょうど良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時には職員数をお知らせしているが4月のお便りには職員紹介をするように考えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶ所、勉強する所がきちんと分かれていると思う。遊びも内容によってスペース分けが適切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びなどは子どもが自由に好きな材料や物を使えるように取り出せる位置、分かりやすい決まった所に配置するようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと整理整頓されていてきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、掃除消毒をしており怪我のないように机のコーナーにスポンジを当てるなどしている。 ・お友達の遊びが見えることで遊びを学んで行けるようになっている。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性をよく理解してもらえている。 ・よく見て考えてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に合わせて声掛けや対応を変えるなどし、苦手な所を伸ばして行くために遊びの中で工夫をしている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムは支援内容と合っている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1			<ul style="list-style-type: none"> ・私の意見や考えをいつも取り入れて考えてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や子どもの様子意見などからニーズや課題を出し計画を作成するようにしている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談や子どもの様子を聞いたり見たりし、職員の意見を出し合い具体的な支援内容を設定するようにしている。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					<ul style="list-style-type: none"> ・計画を念頭に置き支援するようにしている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで何かをする時間が設けられ、個人で同じことばかりをしないようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムについては固定化されないように毎日職員が当番で集団遊びなどは当たるようにしている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では地域の子供達と交流の話を伺っていない。 ・公園で他の小学校の子供達と遊んだりしていることを言うと子供達は嬉しそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園と一緒に鬼ごっこやサッカーなどをして遊ぶ機会が週に2回くらいはある。 ・年に1回行事などで放課後児童クラブの子供達と一緒に活動する事がある。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					<ul style="list-style-type: none"> ・利用時に面談を行い説明をするようにしている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					<ul style="list-style-type: none"> ・面談には必ず計画書を見ていただきながら支援の内容についてご説明をし、質問等にも対応している。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期、不定期にイベントも個別に案内してもらっている。 ・たまに案内はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会でやっている講演会や研修などに案内するようにしている。 ・児童分野で行う情報交換会等への案内などもやっている。 ・森ノ木ファーム(株)で行う研修などにも案内をしている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員によってムラはあるが送迎時に今日の様子等のお話を聞かせてもらっている。 ・送って来てくれる時に様子を聞かせてくれるので様子が知れて嬉しい。 ・こちら側から話せていない事があるかも知れないので共通理解できているか判断しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に話をするようにしており、最低6か月に1回の面談で話をするようにしている。急ぎの時にはLINEなどにより連絡をするようにしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	2			<ul style="list-style-type: none"> ・面談は6か月に1回は行っており、連絡により助言等を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24		1		<ul style="list-style-type: none"> ・違うな?と思う際は伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様とお話をしながら進めるようにしている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり参加はできていない。 ・LINEで交流会があると教えてくれたりするので行ってみようとなる。プリントだけだと「また、今度にしよう」となってしまう。 ・もう少し交流があるとうれしい。 ・以前は兄弟参加の行事があったけど最近はあまりない。保護者や兄弟同士の交流の機会がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所外での催しなどご紹介をし、放課後デイとして参加し交流できるようにしている。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1			<ul style="list-style-type: none"> ・相談事には迅速に対応してもらっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社全体としてもカウンセリングの催しを持っており、放課後デイも随時相談に応じる体勢を取っている。 	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1			・LINEを通して意思疎通や情報伝達を行っている。送迎時には子どもの様子をお伝えするようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25				・印刷物はありがたい。 ・毎月のお便りはいつも拝見している。 ・もりの木の通信はある。子どもの活動をもっと知りたいと思う。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25				・個人情報に関して写真などは出してよい方悪い方を確認しており、また書類等については金庫にて保管している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24			1	・訓練しているかわからない。 ・マニュアルについては策定しており、保護者様にも印刷物にて対応のし方を示している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			1	・以前、津波警報時には対応してくれていたと話しは聞いた。 訓練しているか分からない。 ・非常災害時の対応については保護者様にも印刷物にて対応のし方を示している。訓練について年3回行っており必ず印刷物で行ったことをお知らせしている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25				・安全な体制を取れるように職員の配置をし、計画についても子どもの安全第一で考えている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25				・物が壊れた時、服装についても知らせていただいています。 ・大きい怪我や事故はないので分からないが、トラブルなどは報告してくれていると思う ・事故等については必ずその日のうちに連絡をするようにしている。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			・たたく？子どもがいると少し不安に感じることがある。 ・もりの木放課後デイは好きと言っている。 ・子どもが不安に感じる場合には安心できるように環境設定を行うようにしている。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。				<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日はもりの木放課後デイに行けることで学校も頑張っている。 ・本人は基本、家に帰るのが好きなので行ったら楽しく過ごせているし、帰っても全然いいって感じかもしれない。これから発達が進んできたらもっと楽しくなってくると思う ・曜日が変更になってからは落ち着いて行けるようになり、拒否的な発言はなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を確認しながら遊んでいるかお友達との関係はどうかなど確認をしながら対応しており、必要な場合には保護者様とお話をし楽しんで通所できるように対応をしている。 ・プログラム等もマンネリ化しないように色々取り入れている。 運動、制作、昔遊び、地域の子どものとの交流、自然に触れる体験など色々な活動を取り入れ行っている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1		<ul style="list-style-type: none"> ・これからもよろしくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の興味や好奇心を育ていけるように支援していく。 また、豊かなこころを育てていきたいと思っている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	もりの木放課後デイサービス
------	---------------

公表日 令和8年1月30日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの公民館などの場所を借りたり、長期休みなどは体育館などを借りて運動したりしている。 ・外遊びなどは前の公園を利用している。 ・衝立などで区切りをつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等に寄付等の形でブロックやカードなどおもちゃをおかせていただく。 ・きちんとした個室がないためドアをつける。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基準より多く職員を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員の配置を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情報については視覚から入るようにホワイトボードに今日の予定は書かれている。 ・物の場所等については分かりやすくまとめられ子どもが手にしやすい場所にある。 ・言葉が出ない子どもに対しては、あいうえお表や絵カードもすぐ使える位置に貼りいつでも使えるようにしている。 ・スマホ機能や簡単な手話により伝達している子どももいる。 ・簡単な手話は関係機関と共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が出ない子どもでスマホが使える子どもにはスマホを利用して伝達ができるようにしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・床マットは汚れた部分だけを洗えるタイルカーペットを使用している。 ・室内の掃除やおもちゃの消毒も毎日行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の部屋が必要な時には仕切りで作るようにしている。 ・ 狭い空間の中で子ども達の活動に合わせたスペースを確保できるように工夫している。 	・ 現状維持
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が参加する形で毎月1回定例会を行い目標設定や振り返りが行われている。 ・ 職員間で積極的に意見交換している。 	・ 今後も業務改善を進めるため積極的に職員全員で取り組める体制を作っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 内容を確認して業務内容を改善したり伝達の仕方なども検討するようにしている。	・ 保護者様からの評価に対して評価内容をお伝えするとともに改善すべき点を検討した結果についてもお知らせをしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 毎日子どもが帰った後、一日の気になったこと等を話し、毎月1回業務に関して意見交換の場を持っている。	・ 毎日の職員間の話をする時間がもう少し長くとれるようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・ 外部評価については受けていない。	・ 外部評価について検討をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度終わりに職員からの研修希望を取り、1年の研修計画を立て職員が研修担当となり月に1回研修を行っている。 ・ 会社としても月1回研修を行っている。 ・ 外部の研修も受けている。 	・ 研修を受けた職員は他の職員に受講内容を伝えていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ 支援プログラムは立てられ公表されている。	・ 子どもに会わせて支援プログラムの変更をおこなっていく。

適切な	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者との面談によりアセスメントを行い、ニーズや課題を分析し職員間で話をしてまとめたもので計画を作成している。 ・相談員や他の事業所・学校等への参加をお願いしている。 ・参加できない場合には意見等を求めるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に合わせて随時アセスメントをおこなっていく。 ・子どもと保護者のニーズや課題を随時間き取っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定例会で子どもの課題等を話し合い、子どもや保護者の意見をまとめたもので計画を立てている。 関係機関への会への参加を呼びかけると共に意見を伺うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもにかかわる職員で話をし計画を立てていく。 ・職員全員が積極的に意見をだしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を更新した時には共有し、毎月の会の中で目標達成のために何が必要かを職員全員で共有している。 ・毎日の支援の中での気づきは伝えあい改善するべき所はするようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォーマルなアセスメントを使用して確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の行動を観察しながら標準化されたツールも用いてやっていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本人支援は5領域に分けてねらい、支援内容を記し、家族支援、移行支援、地域支援、地域連携についても項目を設定し具体的な支援内容を明記している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムについて職員全員で検討し、毎日全員で制作活動や体を動かす遊び等を設定し行っている。 ・個別プログラムについても個々の状況に応じて活動を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないように職員全員で検討しプランを立てている。 ・制作活動・運動・カード遊び・昔遊びなど色々なメニューの中から選んで活動を行っている。季節や行事に合わせて制作も工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。 ・色々なプログラムを入れていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通所してから宿題や自由遊びのあと全員で遊ぶ（みんなで遊ぼう）時間を設定し制作活動・運動・行事・地域の子どもと遊ぶなどに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する子どもの状況に合わせてプログラムを検討する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びなどは職員皆が役割分担を決めて取り組んでいる。 ・その日に参加できない職員には書類等で伝えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時間にその日の振り返りをするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面や月1回のミーティングには伝えをする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、業務日誌・個々について支援記録を残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月に1回は必ずモニタリングを行い支援計画の見直し等の検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の支援に必要な活動を組み合わせ遊びの中でトレーニングができるように支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動の所では本人の好きな遊びや活動を選択できるようにし、集団活動の所ではみんなと同じ活動をする練習も行っている。 ・制作活動では自分の作りたいものや自分の好きな色等自分で決める機会を多く持つようにしている。 ・制作活動を行う際には見たり聞いたりする経験をした上で制作活動に入るようにしている。 	・自己選択するために必要な力をつける。
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議には状況を理解した者が参画できるようにしている。会議の前に職員から意見を求め会議に参画するようにしている。 	・継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員からの要請で学校へ出向いたり、会に参加することを行っている。 ・必要な時には、かかりつけの医師と連絡をとるようにしている。 	・継続して関係機関と連絡を密に取っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有は必要時にしており、送迎時の時間変更など電話などで急な時には連絡がいただけるようになってきている。 ・宿題等についても、しにくい時には変更などの相談も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携を密にし、子どもに統一した支援を提供する。 ・子どもをより理解する機会としていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とはネットでつながっており、情報が入るようになってきている。 ・送迎時（予定時刻より遅くなる場合）の状況やトラブルがあった場合にも連絡を入れるようにしている。 	・就学前の状況を確認し支援に活用する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後、次のご利用前に会議をして情報共有や相互理解を行っている。 	・継続していく。

この連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の子ども部会で助言等を受ける機会がある。 ・必要時には連絡を行い連携をはかるようにしている。 	・研修を受けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の広場で地域の子どもと一緒に遊ぶ機会を持つようにしており、鬼ごっこやサッカーなど一緒にしている。 	・継続していく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・協議会には子ども部会として参加し、研修や役割分担をし参画するようにしている。 	・継続している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・急な連絡や状況報告についてはLINEを使用してお伝えをするようにしている。 また、お送り時に簡単なお伝えは口頭で行っている。必要時には面談を行っている。 	・より理解を深めるため、話をする機会を持つようにする。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども部会や会社で行っているカウンセリングや研修などに呼びかけを行っている。 	・今後も家族に向け研修の機会や情報提供をおこなっていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・初回ご利用時や変更があった場合には説明をしている。 	・都度、丁寧な説明をしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てる前には必ず面談、会議等でご意見を伺うようにしている。 	・継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング表・計画案を見ていただきながら確認し、その後計画書にサインをいただくようにしている。 	・書面でご確認できるようにしている。

保護者への説明等

39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて相談に応じるようにしている。 ・専門機関に確認が必要な内容については、後日のご連絡で相談機関をご紹介したり相談結果をお伝えするようにしている。 	・継続していく。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・会社が主催している会やワークショップなどにお声かけをしており、保護者・ご兄弟も参加できるようになっている。当事業所でも保護者様の交流の機会を作っている。 	・参加しやすい場所や内容の検討を行う
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情などについては会社全体のリーダー会議に出し検討しており、職員にも相談内容や苦情については共有している。 ・早いスピードで対応するようにこころがけている。 	・継続していく。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動概要や行事予定については、おたよりで会社全体で毎月1回発行している。LINE等での催しや講演等のお知らせもしている。 	・継続していく。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については金庫等に入れて保管をしている。 	・継続していく。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりなど書面でお伝えするとともに連絡についてはLINEやお電話にて連絡するようにしている。 ・スマホを使える子どもについてはメモ機能などを使って話をする場合もある ・言葉の出ない子供に対しては、意志相通しやすくように部屋の取りやすい所,指し示しやすい所にあいうえお表やカードを配置している。 ・簡単な手話も取り入れており、学校なども共有している。 	・継続していく。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・週に2回は地域の子どもも参加しての遊びを行っている。	・イベントにも参加を呼びかけ交流ができるようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを作成し、職員や家族には周知をしている。	・発生を想定して訓練を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難訓練については年に3回地震や火事等を想定して訓練を行っている。	・継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面談の時に確認し、対応方法についても確認している。	・継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーに関しては初回面談の時に確認し、ある場合には医師の確認をいただくようになっている。	・継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全に留意し、毎日の支援を行うようにしている。	・毎日の支援の中で気をつけていくことについて話し合いをし共通理解をして支援を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全確保をする為、家族と連携を取るなど取り組みについてお話をするようにしている。	・継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットについては都度共有し、会社全体でも会議の中で共有検討する仕組みが作られている。	・継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止についての研修も年に1回行い、虐待の事例がないか毎月会の中で検討を行っている。	・継続していく。

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・放課後デイの入口については、道路が入口の前にあり川も横を流れている為、保護者様の同意を得て入口の施錠は行っている支援計画にも記載している。	・継続していく。
--	----	--	---	--	----------